

令和2年第4回北海道議会定例会 一般質問 開催状況
(経済部観光局、労働政策局雇用労政課)

開催年月日 令和2年12月2日
 質問者 日本共産党 菊地 葉子 議員
 答弁者 知事、経済部長、観光振興監

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>一 新型コロナウイルス感染症対策等について (三) 知事の判断について 1 Go To トラベル見直しの政策決定過程について (菊地議員) 知事は、11月17日の記者会見で「Go To トラベル除外は考えていない」と発言されましたが、Go To トラベル見直しの検討は、いつ、どこでどのように行われたのか。また、記録はあるのか、伺います。</p> <p>2 方針の見直しについて (菊地議員) 知事は、既に感染爆発が起こり、国がGo To トラベル見直しを発言し、知事は態度を一変させました。対応が全て後手に回ったのは、国に対応を丸投げし、知事が主体的判断を行わなかったからではありませんか。何故ここまで見直しを行わなかったのか伺います。</p> <p>(五) 学生への支援について (菊地議員) コロナ禍において、道内の来春卒業予定の新卒内定率が低下し、在学中の学生もアルバイトのシフト減などで生活が困窮している様子が見られます。学生に対する就職支援や生活支援などが必要と考えますが、どのように取り組むのか伺います。</p>	<p>(観光振興監) Go To トラベル事業の見直しについてでございますが、11月17日の道の感染症対策本部会議では、札幌市を対象に「ステージ4相当の強い措置を講じる」ことを決定し、市内において感染リスクが回避できない場合に、「不要不急の外出を控えること」「市外との不要不急の往来を控えること」などの協力要請を行ったところであり、当日の記者会見では、知事から、本部会議の決定に基づき、感染リスクを回避できない場合は、旅行を控えていただきたい旨、発言をしたところでございます。</p> <p>また、Go To トラベルの見直しにつきましては、11月21日に示されました国の方針を踏まえ、24日の道の本部会議において、札幌市内における一時停止はやむを得ないものと判断し、国に伝え、国としての事業の一時停止を決定したところでございます。</p> <p>なお、道の本部会議の会議録につきましては、ホームページで公開しているところでございます。</p> <p>(知事) Go To トラベル事業についてであります。11月21日、国の「新型コロナウイルス感染症対策本部」で示された事業の制度見直しにおいては、感染状況や医療提供体制の負荷など、地域の状況を的確に把握している都道府県知事が一時停止について検討、判断し、最終的には事業を所管する国が決定するとされているところであります。</p> <p>このため、道としては、国の見直し方針を踏まえ、厳しい感染状況や医療提供体制にある札幌市とも協議の上、11月24日の道の本部会議において、札幌市は国のステージⅢ相当との決定を行い、札幌市内におけるGo To トラベル事業の一時停止は止むを得ないものと判断し、国に伝え、国として事業の一時停止を決定したところであります。</p> <p>(経済部長) 学生への支援についてであります。感染症流行の長期化により、新規学卒者の内定状況や働きながら学ぶ学生の収入面などに影響が広がっており、道では、中長期的視点に立った採用等につきまして、先週、知事から、経済団体に改めて要請するとともに、新規学卒者の就職活動の支援に向け、ジョブカフェにおけるカウンセリングやWebによる企業説明会に取り組んでいるところです。</p> <p>また、困窮する学生の方々に対し、「北海道短期おしごと情報サイト」によるアルバイト情報の発信に加え、国の奨学金制度や生活福祉資金、新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金など、各種支援策の活用を大学等を通じて広く周知してきましたほか、</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>【再質問】 一 新型コロナウイルス感染症対策等について (三) 知事の判断について 1 Go To トラベル見直しの政策決定過程について (菊地議員) 国の分科会が提言を出すまで庁内ではGo Toの見直し議論も行わず、Go To継続が絶対であるかのように政策を進め、判断を遅らせたことは重大です。 なぜ感染拡大が分かった時点でGo To見直しを検討しなかったのですか。検討する必要性を知事は感じなかったのか、伺います。知事は判断の遅れが感染拡大につながったとの認識はお持ちなのか併せて伺います。</p> <p>2 方針の見直しについて (菊地議員) 首相も知事も個人の行動変容を求めますが、当の首相や知事が国民、道民に発することは何ら行動変容していません。これこそは正されるべきではありませんか。 地域経済対策をGo Toのみに頼ってきたことが大きな問題であり、この是正こそ必要ではありませんか。</p> <p>【再々質問】 一 新型コロナウイルス感染症対策等について (三) 知事の判断について (菊地議員) 知事は、Go Toが感染の主要な要因ではないといいますが、日本医師会の中川会長は「Go Toが感染拡大のきっかけとなったことは間違いない。」と述べています。知事は中川会長と同様の認識なのか、伺います。 国が判断を変えるまで庁内で一度も議論しないという思考停止と言わんばかりの状態はただちに改めるべきです。感染防止対策が一番の経済対策という視点で政策を決定すべきと考えますが、いかがですか。</p>	<p>大学生などを対象に事務補助職員として臨時的な採用を実施しているところでございます。 引き続き、学生の状況等を把握するとともに、関係機関とも緊密に連携しながら、国に対して必要な支援を要望するなど、学生が学びを継続し、安定的に就業できるよう取り組んでまいります。</p> <p>(知事) 事業に参加している道内の観光事業者の皆様は、業界のガイドラインの遵守など、感染拡大防止策の徹底を図っており、道内の宿泊施設においては、この事業による集団感染は確認をされておらず、国の分科会でも、主要な要因であるというエビデンスは現在のところ存在しないとされているところであります。 こうした中で、国の事業見直し方針が示されたことから、道としては、この方針に基づき、苦しい判断ではありますが、厳しい感染状況にある札幌市の一時停止はやむを得ないと国に伝え、国として決定したものであります。</p> <p>(知事) 感染症に関する経済対策についてであります。道では、これまで、無利子融資や雇用調整助成金といった足下の事業継続や雇用継続の支援、備品購入などの感染防止対策への支援、さらにはどうみん割やプレミアム商品券等の需要喚起など、厳しい経営環境に直面する企業の皆様に対し、様々な対策を実施し、また、今定例会にも所要の予算案を提案しております。 道としては、感染の早期収束と事業者の皆様への持続的な支援が何より重要であることから、感染拡大を確実にくい止め、社会経済活動との両立をめざし、道民や事業者の皆様のご負担を最小限に抑えていくことができるよう、力を尽くしてまいりたいと考えております。</p> <p>(知事) Go Toトラベル事業についてであります。日本医師会の会長からのご意見は、医療者の立場からの見解を示されたものと受け止めております。 道としては、こうした声も踏まえ、感染拡大を確実にくい止め、社会経済活動との両立を図られるよう、今後とも、機動的かつ効果的な対策の実施に努めてまいります。</p>